

生きる力（三つの柱 学びに向かう力・人間性 個別の知識・技能 思考力・判断力・表現力）を育成する主体的・対話的・深い学びに向けた授業改善 社会に開かれた教育課程 カリキュラムマネジメント



### 学びの姿 (目指す児童の姿) ～GIGA スクール構想のもと進める、児童の可能性を引き出す教育活動～

「主体的な学び」 見付ける気付く、興味関心をもつ **見通し**をもって取り組み発信する。 **振り返り**により**次につなげていく課題解決型の学び**

「対話的な学び」 他者との対話 自己内対話 **自ら問いを見つけ、対話する中で考えを広げ深める**学び

「深い学び」 **「見方考え方」**を働かせて探求し、自己の考えを形成し表現する学び **資質・能力の3つの柱である力が活用され発揮される**学び



### 本校の学校教育目標のとらえ方と児童像 元気と勇気と思いやり

#### よく考えて、工夫する子

基礎・基本や学び方を身に付け、自ら考え表現できる子  
自ら問いや課題を見付け、工夫して遊び学び行動する子

#### 体力のある、元気な子

**遊び・運動が好き**な子 健康のため**自己管理**ができる子

#### 思いやりがあり、助け合う子

**自己肯定感・自己有用感**をもつ子  
自他を大切に、**思いやりある行動**がとれる勇気のある子

#### ねばり強く、やりぬく子

自分・仲間のために自己の能力を発揮する子  
**リーダーシップ・フォロアースhip**を発揮し協力して活動する子

#### 墨田区教育施策大綱 目指す子供の将来像 平成28年 6月～

- 将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人
  - ア 感性豊かでいろいろなことに興味・関心をもって学び、実践できる人
  - イ 自己肯定感を育みながら、まわりの人の立場や気持ちを思いやることができる人
  - ウ スポーツや遊びを通じて健やかな体を育むことができる人
- 郷土に誇りを持ち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人

#### 学校経営の重点1

「社会に開かれた教育課程」の推進

- 家庭・学校・地域が協働する。地域を教材化 学習活動への参加
- キャリア教育の推進**
- GIGA スクール構想における連携**
- ねらいを明確にした幼保小中一貫教育の充実
- なめらかな接続のための連携
- 学校支援ネットワークの活用と地域人材の発掘

#### 学校経営の重点2

「全教職員で進める**カリキュラムマネジメント**」

- 学校の教育目標・**学びの姿**を踏まえ、全教職員が**教科横断的**に教育課題の解決に向けた、教育内容を組織的に検討し再配列・再構築する。  
※各教科部会の専門性の向上
- 教育活動の精選を行い、スクラップアンドビルドによる、焦点化重点化を進める。
- データなど根拠を基に、PDCA サイクルによる見直しを行う。

#### 学校経営の重点3

「授業改善のための研修・研究の充実」

- 学びの姿**を目指した、日常の授業改善
- 教科横断的なカリキュラムマネジメントを鍵とした総合的な学習の時間の単元づくり
- 学力向上のため GIGA スクール構想のもと、学習の個別最適化と効果的なタブレット端末の活用
- SDGs** の理解と目標に向けた、環境教育の取組

#### 学校経営の重点4

「組織体制の改善と実効性のある計画と運営」

- 3つの重点を達成するための、分掌組織編成と持続可能な運営
- 「瞳いきいき心わくわく」子供たちの心の居場所と関わりをつなぐ学年・学級経営、特別活動
- 特別支援教育の充実**に向けた、体制づくりの強化
- 「働き方改革」による、業務の見直し
- 「チームとしての同僚性」を意識したOJT

### 学力向上・体力向上の数値目標（達成・取組指標）

- 墨田区学習状況調査 全学年全教科 +5ポイント以上（理科重点指導 理科全国平均以上） ○全国学力状況調査 平均正答率全国以上 ○ミライシードの活用目標達成
- 単元テスト 各学年正答率目標達成 ○校内アイチェック 自己肯定感・自己有用感・規範意識・将来の目標設定率の向上 読書未読率0
- 基本的生活習慣（自分から挨拶ができる。早寝早起き朝ご飯 90%以上 メディア・ゲーム時間を決める90%以上）
- 体力測定 区目標値以上 ○1日60分以上の運動 児童8割以上達成

### 教職員の基本姿勢 ～学び続ける教職員～

- 計画的・組織的な特別支援教育の充実を図る。一人一人の良さを引き出し、考える・分かる・できる喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研究・研修に努める。  
エデュケーション→エデュケート=引き出す
- 保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい教育活動・学習環境・居場所を創造する。
- 明るさ温かさを根底にしなが、子供の思いを受け止め、指導すべき点は明確に伝わるよう、身に付くよう根気よく指導する。(体罰・暴言・不適切な指導はあってはならない。)
- いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育の徹底に努める。共感する心や勇気と判断力を育てる。(呼名・言葉遣い)
- 教師自身が児童の手本となる。(社会人としての高い規範意識と品性 教育者としての豊かな感性)
- 子供や教育への愛と熱意をもち、明るく温かく前向きに、チームで組織的に協働する